



平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL http://www.asahi-intecc.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田昌彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊藤瑞穂 (TEL) (052)-768-1211
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	12,568	25.8	4,249	36.5	4,295	37.9	3,073	32.2
29年6月期第1四半期	9,988	△2.4	3,113	△1.7	3,115	△2.9	2,324	△0.6

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 3,582百万円(65.4%) 29年6月期第1四半期 2,166百万円(69.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	47.65	47.34
29年6月期第1四半期	36.74	36.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	63,690	46,433	72.9
29年6月期	63,246	44,659	70.6

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 46,425百万円 29年6月期 44,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	30.40	30.40
30年6月期	—				
30年6月期(予想)		0.00	—	33.34	33.34

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,423	14.8	6,229	5.9	6,244	0.9	4,382	3.2	67.96
通期	47,426	11.0	12,135	12.4	12,170	11.2	8,599	11.3	133.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年6月期1Q	64,559,000株	29年6月期	64,484,800株
30年6月期1Q	1,890株	29年6月期	1,890株
30年6月期1Q	64,511,064株	29年6月期1Q	63,275,590株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 地域ごとの情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第1四半期連結累計期間では、樹脂塗装技術を有する日本ケミカルコート株式会社（取得後、非連結子会社）の全株式を取得するなどし、当社グループの強みを更に盤石化することに努めました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、従前に引き続き需要は堅調であり、特にメディカル事業の海外向け売上高が増加し、125億68百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

売上総利益は、好調な受注と生産性の向上などに伴い売上総利益率が上昇し、87億8百万円(同27.7%増)となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加により吸収し、42億49百万円(同36.5%増)となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加えて、為替差益が増加し、42億95百万円(同37.9%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に伴い、30億73百万円(同32.2%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

1 米ドル=111.04円(前年同期102.42円、比8.4%増)

1 タイバーツ=3.33円(前年同期2.94円、比13.3%増)

1 ユーロ=130.42円(前年同期114.26円、比14.1%増)

1 中国元=16.64円(前年同期15.35円、比8.4%増)

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業は、国内・海外市場ともに需要は堅調であります。

国内市場においては、直接販売を行っている主に循環器系領域の製品群が好調に推移いたしました。PTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル「SASUKE(サスケ)」の販売が継続して伸長したことに加え、PTCAバルーンカテーテルの新製品「NC-kamui(エヌシーカムイ)」がシェア獲得により増加するなどし、好調に推移いたしました。

海外市場においては、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが、主に欧州中近東及び中国市場において増加傾向にあります。増加のうち一部は、代理店の在庫構築や特需などの一時的な増加も含まれますが、概ね大半は末端需要の増加に伴うものと認識しております。

以上の結果、売上高は103億11百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費及び営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な受注による売上高の増加により、36億21百万円(同23.1%増)となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、医療部材及び産業部材共に、海外売上高が好調に推移いたしました。

医療部材については、国内市場が横ばいに推移するものの、海外市場において、内視鏡処置器具部材や、耳鼻咽喉科向部材がやや増加し、売上高は増加いたしました。

産業部材につきましては、国内市場が建築関係の取引が海外移管に伴い減少したものの、海外市場において、米国向けレジャー取引の増加や、建築関係の国内からの取引の移管の影響を受け、売上高は増加いたしました。

以上の結果、売上高は22億56百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

また、セグメント利益は、外部顧客への売上高及びセグメント間取引が増加したため、11億21百万円(同76.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が636億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億43百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が32億65百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が8億76百万円、仕掛品が2億85百万円、原材料及び貯蔵品が3億56百万円、有形固定資産が16億45百万円、投資その他の資産が4億19百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が172億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億30百万円減少しております。主な要因は、長期借入金が4億16百万円増加した一方、短期借入金が18億49百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が464億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億74百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が11億13百万円、その他有価証券評価差額金が1億31百万円及び為替換算調整勘定が3億73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想に比べて大変好調に推移いたしました。

なお、第2四半期以降の業績におきましては、海外の競合他社の生産工場が平成29年9月にハリケーンにより被災した為、生産状況が一時的に不安定となり、一部の地域については、当社への受注が一時的に増加傾向にあります。

しかし、このような競合他社を起因とする特需については、現状把握が困難であるため、当社の業績予想へのインパクトが把握しづらい状況にあります。

よって、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の見通しにつきましては、現状の予想数値を据え置いております。仮に、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,992,651	16,726,914
受取手形及び売掛金	7,897,678	8,773,823
電子記録債権	669,441	701,424
商品及び製品	2,622,135	2,621,134
仕掛品	3,318,954	3,604,334
原材料及び貯蔵品	3,048,058	3,404,819
その他	2,185,583	2,301,605
貸倒引当金	△16,284	△17,368
流動資産合計	39,718,220	38,116,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,012,229	6,947,263
その他(純額)	11,983,994	13,694,189
有形固定資産合計	18,996,223	20,641,452
無形固定資産	653,888	634,019
投資その他の資産	3,878,415	4,298,038
固定資産合計	23,528,527	25,573,511
資産合計	63,246,747	63,690,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,540,770	1,664,356
電子記録債務	444,405	422,615
短期借入金	4,768,110	2,918,870
未払法人税等	1,472,452	1,153,955
賞与引当金	308,003	679,960
その他	3,751,517	3,449,616
流動負債合計	12,285,257	10,289,375
固定負債		
長期借入金	3,477,785	3,894,470
役員退職慰労引当金	24,908	24,908
退職給付に係る負債	965,812	1,007,187
その他	1,833,925	2,040,895
固定負債合計	6,302,430	6,967,460
負債合計	18,587,688	17,256,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,685,183	4,761,482
資本剰余金	7,607,046	7,683,345
利益剰余金	30,326,244	31,439,584
自己株式	△6,231	△6,231
株主資本合計	42,612,243	43,878,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	812,626	944,164
為替換算調整勘定	1,266,898	1,640,506
退職給付に係る調整累計額	△41,274	△37,109
その他の包括利益累計額合計	2,038,250	2,547,562
新株予約権	8,565	7,620
純資産合計	44,659,059	46,433,363
負債純資産合計	63,246,747	63,690,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,988,346	12,568,754
売上原価	3,170,978	3,859,922
売上総利益	6,817,367	8,708,832
販売費及び一般管理費	3,703,529	4,458,971
営業利益	3,113,837	4,249,860
営業外収益		
受取利息	1,890	9,028
受取配当金	2,999	3,151
為替差益	-	35,486
その他	16,627	18,621
営業外収益合計	21,518	66,287
営業外費用		
支払利息	7,012	14,697
延滞税等	-	4,277
為替差損	5,090	-
その他	7,761	1,940
営業外費用合計	19,864	20,915
経常利益	3,115,492	4,295,232
特別利益		
新株予約権戻入益	-	17
特別利益合計	-	17
税金等調整前四半期純利益	3,115,492	4,295,250
法人税、住民税及び事業税	593,793	1,177,891
法人税等調整額	197,230	43,739
法人税等合計	791,024	1,221,630
四半期純利益	2,324,468	3,073,620
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,324,468	3,073,620

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,324,468	3,073,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,501	131,538
為替換算調整勘定	△144,665	373,608
退職給付に係る調整額	5,471	4,165
その他の包括利益合計	△157,695	509,311
四半期包括利益	2,166,772	3,582,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,166,772	3,582,931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,942,116	2,046,230	9,988,346	—	9,988,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,675	494,881	510,557	△510,557	—
計	7,957,792	2,541,112	10,498,904	△510,557	9,988,346
セグメント利益	2,940,910	634,517	3,575,427	△461,589	3,113,837

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,311,900	2,256,854	12,568,754	—	12,568,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,172	1,033,679	1,052,852	△1,052,852	—
計	10,331,072	3,290,533	13,621,606	△1,052,852	12,568,754
セグメント利益	3,621,093	1,121,199	4,742,292	△492,431	4,249,860

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	米国	欧州・中近東	中国	アジア	その他	合計
4,620,708	2,452,882	2,321,401	1,313,378	1,602,457	257,925	12,568,754

(表示方法の変更)

前連結会計年度において「アジア」に含めて表示しておりました中華人民共和国の売上高については、重要性が増したため、当連結会計年度より「中国」として区分表示しております。